

新型コロナウイルス感染予防対策

弊連盟では上記の大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイドランスを参考に作成したこの感染症予防対策に基づき、また開催府県である大阪府と調整を行った上運営を行います。

安全、安心な大会運営を目指しますので遵守をお願いします。なお、守っていただけない場合は、参加（入場）を認めない、また参加（入場）していても競技場から退場していただくことがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

I 基本注意事項

1. 無観客試合

- ・選手、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー、給水補助）、大会関係者のみ入場可能とする。各大学の最大参加人数は競技者数によって下表のように制限する。
- ・大学は競技場内に入る者の名簿（別紙）を必ず代表者が提出すること。
- ・選手の保護者は、感染症対策を講じて行うため入場は不可とする。
- ・マスコミの関係者は事前に関西学連に問合せを行い、本連盟が定める感染症対策を遵守する場合のみ入場を認める。

選手		1	2	3
スタッフ	監督・コーチ・マネージャー	2	2	2
	給水補助	1	2	3
大会関係者		1	1	1

2. 応援自粛

- ・チームスタッフが選手の指導等する場合は大声で行わない、また対人距離を必ずとること。
- ・声を出しての応援は一切禁止とする。拍手等にて行うこと。

3. 「3密」の回避

- ・対人距離を 2 m 以上確保すること。撮影などをする場合も同様とする。
- ・マスクの着用を徹底すること。（ただし、選手の競技中は除く）
- ・諸室は換気関係設備を運転し、窓・ドアを開放する。熱中症予防の観点から空調機等による温度調節を行う。

4. 感染症対策

- ・感染経路となりうる高頻度接触部位は、主催者が消毒するが、参加者各人が注意し、接触後の手洗いを徹底すること。
- ・競技者、審判員、その他全ての入場者は、こまめに手洗い・消毒を行うこと。手洗い場にはハンドソープを準備する。
- ・ハンカチやマイタオルを持参すること。
- ・感染が疑わしい競技者には、その場で検温を実施し状況により参加を許可しない。

II 大会参加について

1. 競技者、チーム関係者は、検温を義務とする。
2. 競技者・チーム関係者は、大会開催 2 週間前および 2 週間後の体調管理チェックシートを必ず記入すること。
3. 下記に該当する場合は大会に参加（入場）を認めない。
 - ① 当日、大会参加者の体調を確認した「確認書」が大学より提出されていない。
確認書：本大会へ参加する大学関係者すべての体調を確認し、体調管理チェックシートの記載も確認した旨を証明する書類。大会当日、第 1 次招集完了時刻【8 時 50 分】までに正面玄関受付へ提出すること。
 - ② 大会当日の朝の検温で 37.5℃を超え、強い倦怠感と息苦しさがある。
 - ③ 発熱がなくても風邪の症状や体調不良がある。
 - ④ 同居家族や知人、友人に感染が疑われる人がいる。

III 競技場への入場について

1. 競技者、チーム関係者の入場受付はヤンマーフィールド正面玄関のみにて実施する。また、対人距離 2 m 以上の間隔を空けて検温まで待機すること。
2. 競技者、チームスタッフには検温後、ID を配布する。ID 配布および返却方法は以下の手順で行う。
 - ① 大会開催 2 週間前までに配布する体調管理チェックシートに必要事項を記入する。
 - ② 大会当日、自身の体調を確認した上で、大学代表者に体調を確認したことを伝える。
→代表者は**確認書・当日の入場者名簿**を**第 1 次招集完了時刻【8 時 50 分】**までに正面玄関へ提出。
 - ③ 入口にて検温を受け、ID を受け取り、大学名と ID 番号を競技役員へ伝える。
 - ④ 退場時に、ID を正面玄関に大学ごとにまとめて代表者が返却する。ただし、大会役員および競技役員、学生審判員・補助員は別途主催者（関西学連）が集める。
* ID が全て返却されない、また不正使用や入場者名簿の人数と枚数が一致しない場合、今後弊連盟主催競技会への出場を認めない場合がある。
3. 入場者は「**大阪府コロナ追跡システム**」への登録のご協力をお願いします。
4. ID の無い者は競技場内への入場を認めない。
5. 本大会へ向けて記入した体調管理チェックシートは各大学で保管し、大会当日は持参しなくても良い。なお、「確認書」の提出がない大学は、大学として本大会への出場を認めない。

IV 競技場からの退場について

1. 退場口は正面玄関及びゴール側南西門に限る。
2. 退場の際、**配布した ID カードを大学毎にまとめて正面玄関にて回収**する。ID が全て返却されない、また不正使用や入場者名簿の人数と枚数が一致しない場合、今後弊連盟主催競技会への出場を認めない場合がある。

V 招集について

1. 第一次招集は、招集所にて指定時間内の○付けとする。招集所では、並ぶ位置に一定距離を空けたマーカーを配置する。
2. 競技者係はフェイスシールドを着用する。スタート待機所は対人距離を確保できる広さを確保し、審判員はフェイスシールドを着用する。

VII 給水について

1. 給水を実施する際は、競技開始前に手指を消毒し、マスク・フェイスシールド・手袋を着用して行う。
2. スポンジは使用しない。

IX 記録について

1. 記録掲示板前での滞留を避けるため、リザルトは記録掲示板に貼りださない。
 2. リザルトは HP と Twitter にてお知らせする。
- 記録に関する抗議は Twitter での発表を正式発表とし、そこから 30 分以内に行うこと。

X 更衣室に関して

1. 一度に多人数（最大 10 名）が使用しないように、張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導する。
2. 換気扇を常に作動させ、窓を開放する。なお、シャワーの使用は禁止する。

XI 各大学の待機場所・集合について

1. 競技者は競技に合わせて来るため、待機場所は基本的には設けてはならない。
2. ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止する。

XII その他

1. 競技終了後、全ての箇所、競技用機材を清掃、消毒する。
2. 競技開始前の審判打ち合わせは実施しない。（伝達事項は HP または、役員室のホワイトボードに記載）
3. 参加者は大会後、症状が 4 日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（関西学連）に体調管理チェックシート【大会前】を提出し報告すること。
4. 集団練習はせず、2 m 以上の対人距離を空けて練習を行うこと。
5. 怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医師、看護師等医療従事者が対応するが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には別途その場にいる医療従事者と相談して対応を行う。